

## お知らせ

- ・スーパーコンピュータでの大容量ファイルの利用について
- ・汎用データ可視化ソフトウェアAVSのレベルアップについて
- ・データ解析ビジュアライゼーションソフトウェアIDLのレベルアップについて

- ・スーパーコンピュータでの大容量ファイルの利用について

スーパーコンピュータvppで利用できるファイルシステムには、2種類あります。一つは、スーパーコンピュータのホームディレクトリの/home/usrN/user-idのファイルです。もう一つは、/home/dpfsのディレクトリのファイルで、こちらは大容量のファイルや並列ジョブからの入出力に適したファイルです。スーパーコンピュータで1つのファイルが数百MB以上になるファイルを作成する場合には、ファイル処理性能や容量面からも/home/dpfsのファイルを利用することをお勧めします。なお、このdpfsのファイルを利用する場合には、dpfsdirコマンド(/home/dpfs/usrN/user-idのディレクトリを作成する)でディレクトリを作成してからご利用ください。

(以上「速報」 18 - 15.9.22発行)

- ・汎用データ可視化ソフトウェアAVSのレベルアップについて

汎用データ可視化ソフトウェアAVSが、10月20日より、AVS Express6.2にバージョンアップしました。このバージョンでは、つぎの機能が拡張されています。

- ・初心者でも可視化が簡単に行える、ウィザードモジュールのサポート。
- ・テキストファイル、バイナリファイルの読み込みモジュールのサポート。
- ・GFAファイル(3次元動画ファイル)の透明度のサポート。
- ・BMPイメージファイルへの出力サポート。
- ・アプリケーション起動モジュールのサポート。

詳しくは、つぎのURLを参照してください。

<http://www.kgt.co.jp/library/manual/avs/express/relnotes62.pdf>

- ・データ解析ビジュアライゼーションソフトウェアIDLのレベルアップについて

データ解析ビジュアライゼーションソフトウェアIDLが、10月20日より、IDL 6.0にバージョンアップしました。このバージョンでは、つぎの機能が拡張されています。

- ・iTools機能(プリビルド・インタラクティブビューワ)のサポート。
- ・Virtual Machine機能(.savファイルの実行環境(無償提供))のサポート。
- ・Java Objectへのインタフェースのサポート。

詳しくは、つぎのURLを参照してください。

<http://www.ResearchSystems.com>

(以上「速報」 19-15.10.24発行)